

## 24. 総合診療 臨床研修プログラム (必修科)

### 1. 研修目標【GIO】

初診患者、再診患者の診療を通し、診察した患者に対しての入院対応（診断から治療へのプロセスを中心に、他職種連携、多様な包括的アプローチを学ぶ）を、指導医、上級医の監視のもと、指導を受けながら一般外来対応における基本的診療能力を体得する。

### 2. 研修期間 4 週

### 3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 総合診療 青山 琢磨  
基幹病院 中部国際医療センター

### 4. 行動目標【SBOs】

- 1) 適切な臨床推論プロセスを経て臨床問題を解決することができる。
- 2) 総合プロブレム方式を学び、これに沿って診療できる。
- 3) 他の医療者に対して、事態を簡潔に説明し冷静に指示をすることができる。
- 4) 患者に穏やかに説明し、理解させられる。患者の心理状態を観察し、把握できる。
- 5) 初診、慢性疾患の再来診察を指導医の監督の下、行うことができる。

### 5. 指導体制【LS】

- 1) 実際に患者の担当医となり、担当の上級医や指導医と協力して診療を行う。
- 2) 総合プロブレム方式に沿って、診療、記録、カンファレンスを行う。
- 3) 外来研修では面接と指導医の下での診察、治療方針の決定を行う。症例検討会やトピック毎の勉強会でも指導する。
- 4) 病棟研修では指導医、後期研修医、初期研修医がチームになり入院患者を受け持ち指導する。外来と同様に症例検討会やトピック毎の勉強会でも指導する。
- 5) 一日の振り返りとして、診療時間終了後に、指導医とその日の振り返りの時間を 30 分設ける。  
(研修医に簡単な日誌または記録等をつけてもらう)
- 6) 一週間の振り返りとして、診察した患者さんのリスト電子カルテを用いた簡単なプレゼンテーション、興味のある診察した症例を 1 つ選択し、文献考察を加えながら病態の解釈を中心とした発表を行う。
- 7) 一カ月に 1 回程度、総合診療に役立つようなテーマで勉強会を行う。

### 6. 評価方法【Ev】

研修中にフィードバックを繰り返し、形成的評価を行う

## 7. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	総合診療 外来	総合診療 外来	総合診療 外来	総合診療 外来	総合診療 外来
午後	総合診療 外来 救急バック	総合診療 外来 救急バック	総合診療 外来 救急バック	総合診療 外来 救急バック	総合診療 外来 救急バック
夕方	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
備考					